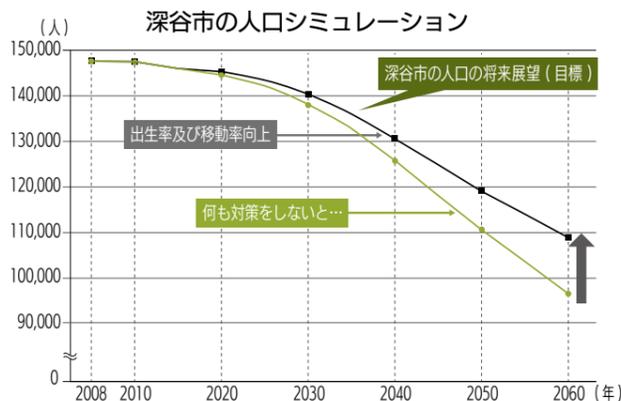


特集 人口減少に立ち向かう



深谷市の将来人口目標

出生率と若年層の移動率を向上させ、この目標値を目指しますが、決して簡単な目標ではありません。今対策をしないと、人口減少が止まらなくなってしまいます。

項目	2008年	2060年目標
人口	14万7,000人	10万9,000人
高齢化率	19.4%	38.3%

基本目標①: 産業の価値の創出

企業が深谷に進出しやすい環境づくりをしたり、新商品開発や新産業づくりを応援することで、活気あるまちづくりをします。

産業同士の連携をとりながら地域産業全体を底上げし、地域の経済を元気にします。



基本目標②: 暮らしの価値の創出

「深谷に住みたい」、「子育てをするなら深谷がいいね」——深谷に住む人や移住を考えている人がそのように感じる『暮らしの価値』をつくりだします。

特に若年層が深谷で暮らしやすい環境をつくりだしていきます。



# 1 減少する人口 深谷の未来を知る

左のグラフは、深谷市の人口変動を予測したものです。人口減少に対し、何も対応しなかった場合、現在14万人を超える深谷市の人口は、44年後の2060年には10万人を下回り、高齢化率は42・8%にまで上昇すると想定され、人口減少や高齢化が今後ますます進行すると予測されています。

# 2 人口減少を克服する 2本の柱

人口減少に立ち向かうため、深谷市では取り組みに2本の大きな柱を立てました。キーワードは、『産業の価値』と『暮らしの価値』です。確固とした『産業』で人を呼び、『暮らし』を支えることが、『まち』をつくりだすには必要不可欠です。この2つの価値を高め、『深谷』が持つ地域の価値を押し上げていきます。

## 人口減少に立ち向かう

# 『まち・ひと・しごと創生総合戦略』 深谷市の取り組みが始まります

問い合わせ 企画課 (☎ 574 - 8096)

全国に迫る人口減少問題

人口減少。深谷市のみならず、全国の自治体が抱える深刻な問題です。平成27年度国勢調査の速報値では、日本の人口が1920年の調査開始以来初めて減少したという数字が報告されました。

東京に近く、人口減少の影響が比較的少ないとされる埼玉県は平成22年の前回調査と比較して、県全体では0・9%増加したものの、県内市町村別では63市町村中、40市町村で減少。県北では軒並み減少しています。

市が直面する人口減少

深谷市も減少した40市町村のひとつです(前回調査比0・5%減)。

このまま、対策をせず人口減少が続くと、人口バランスが崩れ、必要最低限の制度やサービスの維持ができなくなる、そんな結末を迎える可能性もあり得ます。

そうならないための対策が『深谷まち・ひと・しごと創生総合戦略』です。今回の特集では、人口減少に立ち向かう計画、『深谷まち・ひと・しごと創生総合戦略』についてお知らせします。

急激な人口減少は、私たちの暮らしにどのような影響がありますか?

地域の活力が落ち、働く場所が減ったり、税収が減り、市民生活に影響が出ます



# 3 2本の柱を支える 6つの戦略

『産業の価値』『くらしの価値』という2本の大きな柱を支えるのが、6つの戦略（左表）です。6つの戦略は産業からくらしまで幅広い分野を支えています。

これから深谷市ではこの戦略に基づいて、新規事業を始めたり、個別の事業を組み合わせながら効果的に事業を進めていきます。

## 産業の価値の創出

### 戦略① 産業基盤整備戦略

事業を広げやすい環境をつくり、深谷に会社を呼び込んだり、現在、市内にある会社も元気になるまちづくりをします

### 戦略② 産業イノベーション応援戦略

深谷の強みを生かしながら、異業種交流を促し、他では真似できない深谷ならではの産業づくりを応援します

### 戦略③ 雇用促進戦略

地域産業を支える人材を育てたり、働きやすい環境づくりを支援し、女性や若者も就労しやすいまちにします

## くらしの価値の創出

### 戦略① まちの魅力発信戦略

深谷に住む人が深谷をもっと好きになる、市外の人が「深谷って面白そう、行ってみよう」と思えるまちにします

### 戦略② 結婚・出産・子育て応援戦略

若い人が「こんなまちで生活したい」と思えるまちにするため、結婚、出産、子育てといった場面で切れ目のない支援をします

### 戦略③ 暮らしやすさ向上戦略

深谷に住むさまざまな人が、お互いに力を発揮し合って、地域のために協力できる環境をつくります



『深谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の2本の柱、6つの戦略の特徴は？

『まんべんなく』ではなく、『選択と集中』。効果的に事業に取り組みます

『産業』と『くらし』の分野に重点的に取り組みます



## いつまでも『住みたい』 まちになるために

『深谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、平成27年度から31年度の5年間という限られた期間の計画ですが、その内容は、何十年も先の深谷の未来を考えた戦略です。

この戦略はさまざまな角度から人口減少や高齢化といった大きな課題に向き合い、人口減少に挑戦していくものです。

人口減少を抑えるためには、まず第一に、今深谷に住む人がいつまでも深谷に住み続けたいと思えるまちにならないとできません。

深谷に住む人や働く人が「深谷っていいよね」「住むならやっぱり深谷がいいよ」と、市外のかたに胸を張って言えるようなまちになることが、巡り巡って人口の維持・まちの活力向上につながります。

そして、活気あふれる深谷に

なることで、市外のかたも住む場所、働く場所として深谷を選ぶ機会も増え、将来、まちの大きな活力になっていきます。

国では『くらし』が『ひと』を呼び込む好循環をつくり『まち』が活力であふれることを目指しています。今回策定した深谷市の戦略は、市内でそんな好循環をつくり出すための柱となります。深谷市が今よりももっと活力あるまちになるように、市民の皆さんと共にさまざまな取り組みを進めます。

今回の特集でお知らせした『まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、内容を抜粋してお知らせしています。詳しくは、ホームページ（[P](#)）『深谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略』で検索をご覧ください。

